

高塔山夜景キャッチコピー「河童の愛した宝石箱」

11/15 わかまつ

2024
令和6年

編集 若松区役所総務企画課 ☎761・0039 FAX751・6274

- 時間は24時間表記。
- 料金について記載のない催しは入場無料(参加無料)。
- はがき・往復はがき・電子申請の応募方法は11ページを参照。
- 甲=申し込み 問=問い合わせ
- 共通=共通の内容 担=市の担当課
- ネット=ネット窓口(電子申請)

保健福祉無料相談

高齢者・障害者あんしん法律相談

弁護士が応じます。12月12日(木)13～17時、若松区役所で。対象はおおむね65歳以上の高齢者や障害のある人と家族など。甲12月9日までに若松区役所「高齢者・障害者相談」コーナー ☎751・4800へ。

防災スピーカーのテスト放送をします

11月20日(水)11時頃、全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉情報伝達訓練の一環として、区内沿岸部を中心に設置している防災スピーカー10本のテスト放送を行います。荒天中止。問危機管理室危機管理課 ☎582・2110へ。

安全安心まちづくり若松区民大会

区民が安心して生活できる安全で明るく住みよいまちづくりを目指します。11月27日(水)14～16時、若松市民会館(若松駅前)で。問若松区暴力追放推進協議会(若松区役所コミュニ

ティ支援課内) ☎761・5324へ。

400ml献血にご協力を

12月3日(火)10～12時と13～16時、若松区役所で。対象は体重50kg以上で18歳(男性は17歳)～69歳(65歳以上は60～64歳の間に献血経験があること)。年齢の分かるものが必要。問

若松区役所コミュニティ支援課 ☎761・5324へ。

芦屋基地のモニターを募集

基地諸施策の改善と向上のため、基地の行事や研修に参加し、ご意見などを提出していただくモニターを募集します。期間は4月から1年間。

対象は20歳以上などの条件あり。詳細は問を。定員10人。甲12月13日までに問へ。問航空自衛隊芦屋基地渉外室 ☎223・0981。



▲詳細は芦屋基地ホームページへ

健康だより

問若松区役所健康相談コーナー ☎761・5327

食卓相談

健康を考えた食生活の相談に管理栄養士が応じます。希望者には体組成測定あり。12月12日(木)10、11、13、14時、若松区役所で。対象は65歳以上。定員各時間1人。甲12月9日までに問先へ。

市民センターをご利用ください

市民センターは、地域活動や生涯学習、文化・スポーツ活動を通じた「まちづくり」「人づくり」の拠点となる施設です。地域における住民の交流や、子育てサークル、クラブ活動などもありますので、ぜひお気軽にご利用ください。問若松区コミュニティ支援課 ☎761・5324へ。

センター名	住所	電話
青葉市民センター	青葉台西一丁目14-1	☎742・5331
赤崎市民センター	西小石町8-2	☎751・1900
島郷市民センター	鴨生田二丁目1-1	☎791・0483
修多羅市民センター	白山一丁目9-13	☎751・0720
高須市民センター	高須北一丁目1-2	☎741・5707
ひびきの市民センター	ひびきの北8-28	☎701・5161
深町市民センター	深町一丁目2-12	☎771・6873
藤ノ木市民センター	赤島町20-13	☎771・7956
二島市民センター	東二島二丁目7-3	☎791・1552
古前市民センター	古前一丁目28-23	☎771・8202
若松中央市民センター	浜町一丁目1-2	☎771・7685

「若松物語Vol.44」を発行

魅力にあふれ、急速に発展・変貌していくまち「若松」の今を、多面的な切り口で紹介する情報誌・若松物語。その最新号となる「第44号」が発行されました!!

今回のテーマは、「北九州学術研究都市から世界へ!未来を切り拓く挑戦」です。約30年前から整備がはじまった若松区ひびきの地区。周辺は今も住宅街が拡大しており、新しいお店も増え、人気のエリアに成長しています。まちの中心である北九州学術研究都市では続々と企業の誘致が進んでおり、街並のさらなる発展が期待されています。学研都市といえば、理工系の4つの大学・大学院が同一キャンパスに集積する全国的にも珍しい施設です。学研都市を舞台に、学びの枠を越えて活躍する学生たちの挑戦をご紹介します。

また、若松区のイベント情報なども掲載しております。「若松物語Vol.44」は各区役所・出張所などで無料配布しています。ぜひ、ご覧ください。

問若松区役所総務企画課 ☎761・0039へ。



老人クラブ会員募集!

- 「健康のため、からだを動かしたい」
- 「同世代の人と楽しい時間を過ごしたい」
- 「グラウンドゴルフを楽しみたい」

現在、若松区では1800人の会員が健康づくりや仲間づくりなどの活動を行っています。

60歳以上なら、どなたでも加入できます。

ご夫婦で、お友達同士で、お一人でも大歓迎。毎日の生活に老人クラブの楽しい時間を取り入れてみませんか?

問若松区老人クラブ連合会 ☎761・7072へ。



おわび 11月1日号若松区版「健康だより」コーナー記事において、二次元コードの掲載漏れがありました。お申し込みの際にご不便をおかけしたことをおわびいたします。問市長公室広報戦略課 ☎582・2236



本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。